

テーマ： 「STANCE or DISTANCE? わたしと世界をつなぐ距離」 関連企画

ギャラリー I、II で開催中の「STANCE or DISTANCE? わたしと世界をつなぐ距離」と関連して、「距離」を介した人とのつながりやコミュニケーション、情報との向き合い方をテーマに、熊本市の収蔵作品をご紹介します。

レオニード・ソコフ (れおにーど・そこふ 1941-、ロシア出身、ニューヨーク在住)

《Grandmother Nastya's Letter》は、祖母からアーティストである作家に送られてきた手紙を巨大なキャンバスに写したものである。手紙には、キリスト教とロシア土着の寓話が混ざり合った呪文が書かれており、護身の秘法を孫に譲り渡すことが目的とされている。本作では、自らの祈りの力を信じ、離れた孫を想う祖母の慈愛の気持ちが表されている。

中山ダイスケ (なかやま・だいすけ 1943-)

《Private Castle》のシリーズでは、頭部にたくさんのパラボラアンテナを付け、毛布をかぶった人型の立体が表されている。本作では情報収集には積極的でありながら、自らは発信せず、毛布をかぶることで周囲の人々との交流を遮断し、温かく心地よい毛布の中にももる人間の姿が示され、情報収集の在り方やコミュニケーションの取り方など、ヒトやモノとどのような距離を保つのかという姿勢が問われている。

日本電信電話株式会社 (制作：小林稔ほか)

《クリアボード》は、二つの離れた地点にいる人が、透明なガラスの板を通して、個人的な対話をしながら、協同で描画を行うことができるシステムである。コンピューターを介することなく、視線の動きや表情から相手の感情を読み取ることで、身体の動きとヴィジュアルによる直接的なコミュニケーションの取り方が探究されている。

出品作品一覧

	作者	作品名	制作年	サイズ	技法、材質
1	レオニード・ソコフ	Grandmother Nastya's Letter	2004	162.0x520.0cm	油彩、キャンバス
2	中山ダイスケ	Private Castle A	2006	122.0x112.0x92.0cm	毛布、鉄、FRP
3	中山ダイスケ	Private Castle B	2006	105.0x133.0x97.0cm	毛布、鉄、FRP
4	中山ダイスケ	Private Castle C	2006	118.5x118.0x89.0cm	毛布、鉄、FRP
5	中山ダイスケ	Private Castle D	2006	99.0x102.0x92.0cm	毛布、鉄、FRP
6	日本電信電話株式会社 (制作：小林稔ほか)	クリアボード	2003		木部筐体、プロジェクター、 CCD ビデオカメラほか